

**【2025 年度】TUFS データサイエンス教育プログラム（たふ DS）
自己点検・評価結果について**

1. 実施体制

- ◆国立大学法人東京外国語大学総合戦略会議教育アドミニストレーション・オフィス データサイエンス教育部会において、自己点検・評価を実施した。

＜構成員＞

・副学長		武田 千香	
・大学院総合国際学研究院	准教授	望月 源	○
・大学院総合国際学研究院	准教授	出町 一恵	
・大学院総合国際学研究院	准教授	東城 文柄	
・大学院国際日本学研究院	教授	林 俊成	
・大学院国際日本学研究院	准教授	小野塚 若菜	

○=部会長

2. 自己点検・評価の観点

TUFS データサイエンス教育プログラム（たふ DS）は、入門、中級、実践、応用演習の4つのレベルで構成されており、入門レベル（DS100 番台）は、文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」（以下「MDASH」という。）に対応したプログラムとなっている。自己点検・評価は、MDASH において求められている次の観点に基づき、自己点検・評価を実施する。

- (1) プログラムの履修・修得状況
- (2) 学修成果
- (3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度
- (4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度
- (5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況
- (6) 数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること
- (7) 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること
- (8) 学外からの視点

3. 自己点検・評価結果

本プログラムの履修者は延べ 804 名であり、前年度各学期末に各学部で実施する授業評価アンケートの総回答者数は延べ 162 名であった。

前年度と比較し、本プログラムの履修者総数はほぼ横ばいであるものの、一部授業科目においては履修者の減少がみられた。また、アンケートの回答率が低いことが課題としてあげられる。引き続き、全学的な履修者数、履修率向上を目的とした学生への広報を強化するとともに、アンケート回答率を向上させ、適切な分析に基づく授業内容の改善を図っていく。

2025 年度における観点ごとの自己点検・評価結果は、次のとおりである。なお、今年度のアンケートの回答数が少なかつたため、受講者全体の評価を示すものではなく、回答者の傾向を把握するための参考資料として位置付ける。

観点ごとの自己点検・評価結果	
(1) プログラムの履修・修得状況	
【リテラシー・レベル構成科目 3 科目】	
・「リテラシー・レベル」を構成する授業の科目の履修者数は、延べ 54 名であった。	
・履修者の「単位修得率」は、平均で 75.9%であった。	
・上記の状況から、履修者は、おおむね順調に単位を修得したと判断する。	
【上記以外の科目 21 科目】	
・「リテラシー・レベル」以外の授業科目の履修者数は、延べ 648 名であった。	
・履修者の「単位修得率」は、平均で 86.4%であった。	
・上記の状況から、履修者は、おおむね順調に単位を修得したと判断する。	
(2) 学修成果	
・構成する授業科目について、「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q12. 授業の履修前と比べて自分の知識や能力に伸長があった」「Q7. 今後の学習意欲がわく授業だった」の項目に関して、「5. そう思う～1. そう思わない」の尺度で、4 以上の肯定的な評価をした学生の割合は、以下のとおりである。	
【リテラシー・レベル構成科目 3 科目の平均】	
Q12. 知識や能力に伸長があった	Q7. 今後の学習意欲がわく
80.0%	80.0%

【上記以外の科目の平均】

Q12. 知識や能力に伸張があった	Q7. 今後の学習意欲がわく
91.1%	78.3%

- ・学修成果について、回答者からはおおむね肯定的な評価が得られた。

(3) 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

- ・構成する授業科目について、「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q6. 内容が充実した授業だった」「Q5. 講義内容はわかりやすかったか」の項目に関して、「5. そう思う～1. そう思わない」の尺度で、4以上の肯定的な評価をした学生の割合は、以下のとおりである。

【リテラシー・レベル構成科目3科目の平均】

Q6. 内容が充実した授業だった	Q5. 講義内容はわかりやすかった
60.0%	80.0%

【上記以外の科目の平均】

Q6. 内容が充実した授業だった	Q5. 講義内容はわかりやすかった
80.0%	84.1%

- ・学習の内容の理解度について、回答者からは内容の充実度、わかりやすさともに、おおむね肯定的な評価が得られた。

(4) 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

- ・構成する授業科目について、「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q13. 総合的に見てこの授業に満足した」の項目に関して、「5. そう思う～1. そう思わない」の尺度で、4以上の肯定的な評価をした学生の割合は、以下のとおりである。

【リテラシー・レベル構成科目3科目の平均】

Q13. 総合的に見てこの授業に満足した
80.0%

【上記以外の科目の平均】

Q13. 総合的に見てこの授業に満足した
88.5%

- ・学生の満足度について、回答者からはおおむね肯定的な評価が得られた。今後、他の学生への推奨が期待される。

<p>(5) 全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・本プログラムに係る本学HPの充実を図ることにより、一層の周知を行う必要がある。 ・本プログラムのうち、入門レベル (DS100 番台) は2023年8月に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」に認定された。これを受け、より多くの学生に本プログラムへの理解を深めてもらうことを目的として、本学HPや学務情報システムを通じて、学生への周知を図っている。 ・2026年度より、本学独自の認定プログラムとして、「たふDSアドバンスト」が開設される。これにより、より多くの学生に、データサイエンスの学習に興味を持ってもらい、学習の動機づけを提供することが期待される。 ・データサイエンス担当教員のゼミでの学びなどを通じて、学生への一層の周知を図る。 				
<p>(6) 数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・構成する授業科目について、「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q7. 今後の学習意欲がわく授業だった」の項目に関して、「5. そう思う～1. そう思わない」の尺度で、4以上の肯定的な評価をした学生の割合は、以下のとおりである。 <p>【リテラシー・レベル構成科目3科目の平均】</p> <table border="1" data-bbox="363 1223 858 1319"> <tr> <td>Q7. 今後の学習意欲がわく</td> </tr> <tr> <td>80.0%</td> </tr> </table> <p>【上記以外の科目の平均】</p> <table border="1" data-bbox="363 1402 858 1498"> <tr> <td>Q7. 今後の学習意欲がわく</td> </tr> <tr> <td>78.3%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の学習意欲について、回答者からはおおむね肯定的な評価が得られた。 	Q7. 今後の学習意欲がわく	80.0%	Q7. 今後の学習意欲がわく	78.3%
Q7. 今後の学習意欲がわく				
80.0%				
Q7. 今後の学習意欲がわく				
78.3%				
<p>(7) 内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ・構成する授業科目について、「授業評価アンケート」における設問項目のうち、「Q5. 講義内容はわかりやすかったか」の項目に関して、「5. そう思う～1. そう思わない」の尺度で、4以上の肯定的な評価をした学生の割合は、以下のとおりである。 <p>【リテラシー・レベル構成科目3科目の平均】</p>				

Q5. 講義内容はわかりやすかった

80.0%

【上記以外の科目の平均】

Q5. 講義内容はわかりやすかった

84.1%

- ・授業内容のわかりやすさについて、回答者からはおおむね肯定的な評価が得られた。

(8) 学外からの視点

- ・本学が実施している卒業生アンケートでは、卒業後にデータサイエンスのスキルを新たに求められることが増えているという声が寄せられており、本プログラムは社会人に求められる基礎的な知識を提供する内容となっている。今後、本プログラムの履修によって身に付けられる能力等について、学生に向けてより理解を深められるよう、広報活動を強化する。

以上